

クリアな画質の多機能ドライブレコーダー **FULL HD** GPS
1080P 55fps BUILT IN

MIRUMO[®] eye

DRC-210 取扱説明書



ご購入のお客様へ

この度は、弊社の商品をご購入していただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の際には本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使い下さい。
又、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管して下さい。

ご使用前に、「安全上のご注意」・「ご使用上のご注意」を
必ずお読みください。

もくじ

安全上のご注意	4
ご使用上のお願い	6
<hr/>	
各部の名称	8
ドライブレコーダーの取り付け方	9
メモリーカードの挿入	10
メモリーカードの取り出し	10
本体の取付け	11
フロントガラスへの取り付け	11
ドライブレコーダー本体の位置調整	12
電源への接続	13
バッテリーアイコン	14
本製品の電源オン/オフ	15
自動電源オン/オフ	15
手動電源オン/オフとリセット	15
<hr/>	
初期設定	16
日付/時間の設定	16
自動録画・録音の設定	16
衛星同期の設定	17
<hr/>	
運転中のビデオ録画	18
録画・録音の開始/停止	18
緊急録画	19
スナップショットの撮影	19

もくじ

不点灯警告	20
居眠り防止案内	21
LDWS(車線逸脱警告システム)	22
FCWS(前方衝突警告)	23
FCMD(前方車両移動検知)	24
駐車モード	25
オービス警告	26
カメラ位置追加登録/4グリッドチャート	27

ビデオとフォトの再生	28
ビデオ再生	28
フォトの表示	29
再生画面	29
ファイルの削除	30
録画ファイルについて	31

メニューの使用	32
メニュー項目	33

再生ソフト(SuperCar)インストール	36
SuperCar(PCビューアー)	37
GPSデータの更新について	39

仕様	40
----	----

安全上のご注意 ※必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。《危害や損害の程度を区分して、説明しています。》

●表示内容を無視して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明していきます。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明していきます。



実行

「必ず実行してください」強制です。



禁止

「してはいけない内容」禁止事項です。



警告

安全上のご注意

- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・変な臭いがする等の場合はすぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。(事故の原因となる場合があります。)
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして発煙・発火等の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様、または持病をお持ちのお客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
- シガーアダプターコード(12V/24V車対応)はマイナスアース車専用です。(プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります)
- シガーアダプターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱により発煙・発火等の原因となります。
- エンジンを止めてもシガーアダプターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガーアダプターコードを抜いてください。(バッテリー上がりの原因になります。)
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- シガーアダプターコードを抜くときは、コード部分を引っ張らないでください。コードが損傷し、感電やショートによる発煙・発火等の原因となります。
- 運転者は走行中に画面を注視及び操作しないでください。前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- 
- ヒューズは必ず指定の物を使用してください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱により発煙・発火等の原因となります。
 - microSDHCカードおよびその他の付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
 - 本製品の本体および付属品を分解または、修理しないでください。感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。
 - 本製品を直射日光が当たる場所や暖房器具の近く等、温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。変形・変色等を伴う故障の原因になります。
 - 本製品を電子レンジ、オープン等で、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。
 - 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
 - 本製品や付属品の各端子部に異物が入らないように、注意ください。故障の原因となります。
 - 本製品や付属品を濡れた手で触れないでください。感電等の原因となります。
 - 落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウム電池に異常をきたし、発煙・発火等の原因となります。
 - リチウム電池は消耗品です。充電してもバックアップ機能やリチウム電池による動作がしなかった場合はリチウム電池の寿命が考えられますのでご使用をやめてください。破裂・漏液・発煙・発火等の原因となります。リチウム電池を交換する際は販売店にご依頼ください。
 - 水や海水、その他の液体がかからないように使用してください。リチウム電池等の破損により破裂・漏液・発煙・発火等の原因となります。
 - 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
 - エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
 - 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
 - コード類は、運転を妨げないように引き回してください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻きつくと、交通事故や故障の原因となります。
 - 車線逸脱警告・前方衝突警告・前方車両移動検知・不点灯警告は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。

ご使用上のご注意

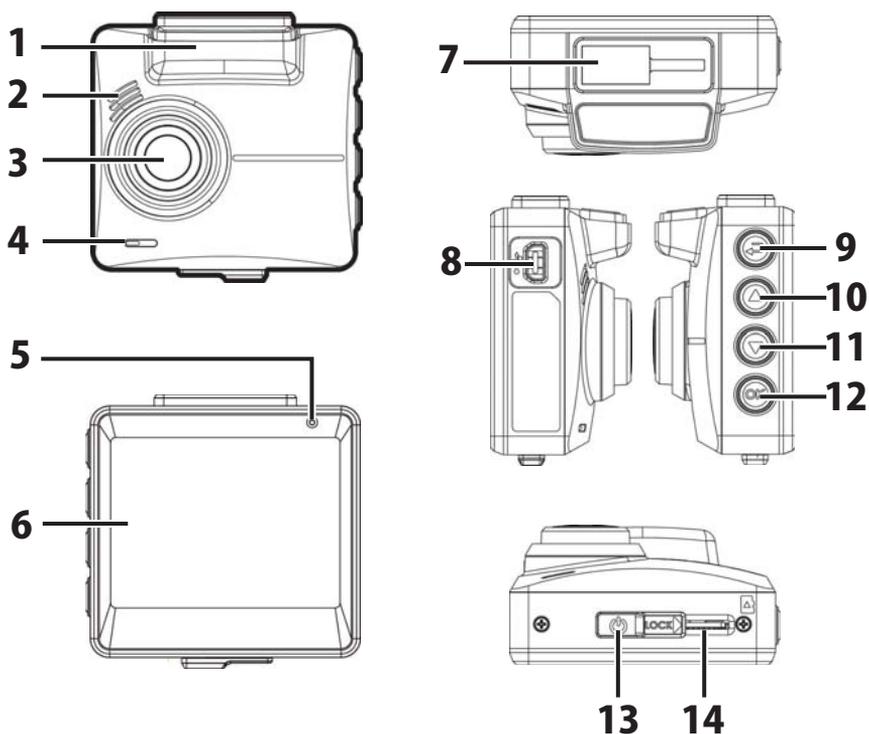


- 本製品は microSDHC メモリーカードを挿入してからご使用ください、メモリーカードなしではご使用できません。
- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また事故等の際の記録を保証するものではありません。(保存できない場合もあります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証規定に入りません。
- 本製品の故障や使用状況によって生じた損害、microSDHC のデータ破損、それらによる損害について弊社は、一切その責任を負いません。
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- テレビアンテナ、GPS アンテナの近くには取付けないでください、受信障害になる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません、オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告・前方車両移動検知・不点灯警告は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- 本製品の衝突検知、動体検知、衝撃検知はそれらの検知を保証するものではありません。
- microSDHC カードは電源スイッチを OFF にして画面が完全に消えてから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本製品以外のデータを入れしないでください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部こぼれ等が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。



- LED式信号機やLED表示装置は高速点滅しているため、点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。
- 逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品の保証対象は本体のみになります、microSDHCカードや内蔵バッテリー、その他の付属品は保証対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的(1週間に1回程度)にmicroSDHCカードを本製品の設定メニューからフォーマットすることをお勧めします。
- microSDHCカードはその特性上、データを書き込める回数に制限(寿命)がありますので1年前後を目安に新品と交換することをお勧めいたします。また使用状況により寿命が短くなることがあります。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、ビデオ画像やスナップショット画像が不鮮明となる場合があります。
- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約75℃以上または約-10℃以下になると画像が通常と異なる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離、ポイント案内、などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- GPS位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わる場合があります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品や付属品の故障および点検等にもなう脱着費用、レンタカー代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内・外を問わず一切その責任を負いません。
- シガーライターコードの接続は分岐ソケット等を使用すると電圧の低下により、誤動作の恐れがありますので、分岐ソケット等は使用せず、車両のソケットに直接、本製品のプラグを差し込んで使用してください。
- 電源の接続は確実に行ってください。(2A以上を確実に供給できる場所)不確実な接続や接続場所が悪いと電圧の低下や変動により誤動作の恐れがあります。

各部の名称



各部の名称

1	GPSアンテナ	8	USB/電源コネクター
2	スピーカー	9	↶ (戻る) ボタン
3	広角レンズ	10	▲ (上) ボタン
4	マイクロフォン	11	▼ (下) ボタン
5	LEDインジケーター	12	OK ボタン
6	LCDパネル	13	電源スイッチ
7	ブラケットソケット	14	メモリーカードスロット

▶ ドライブレコーダーの取り付け方

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

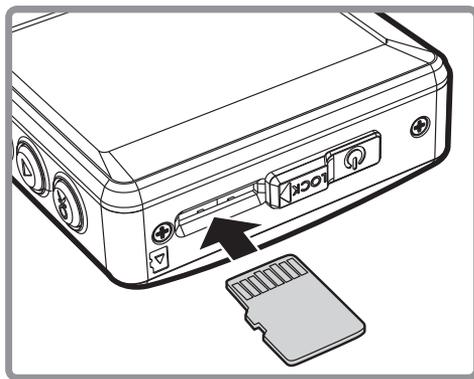
- フロントガラスへの取り付けは、保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- 本製品の近くにGPS受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように、取り付けてください。
- 車両安全装置やブレーキアシストシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機のLEDランプが確認でき、microSDHCメモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品(エアバッグ、その他装備)の動作を妨げないように、取り付けおよび、配線を行ってください。



メモリーカードの挿入

図のように、メモリーカードの金色の部分の本機の画面側に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音がするまで押し込んでください。

※本機はメモリーカードが挿入されないと動作しません。必ずメモリーカードを挿入の上、操作をお願い致します。



メモリーカードの取り出し

メモリーカードをもう一度押すと、カードがスロットから取り出せます。

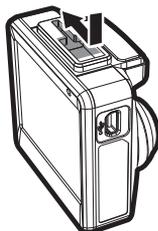
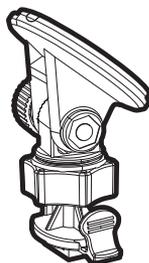
⚠ 注意

1. 本製品の電源がオンになっている時は、メモリーカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモリーカードが損傷することがあります。
2. microSDHC規格のメモリーカード（最大32GB）を使用してください。
3. 初めて使用するときは、P32『メニューの使用』、P35『メニュー項目』の「フォーマット設定」を参照の上、マイクロSDカードをフォーマットしてください。
4. メモリカードを取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないように注意してください。

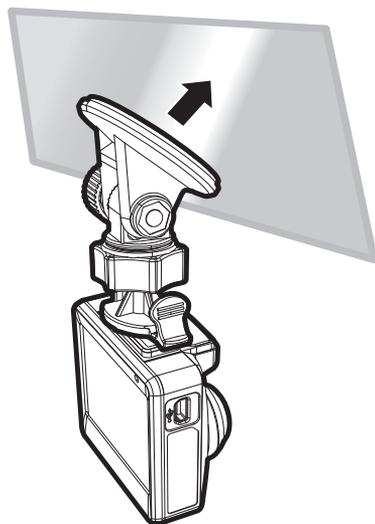
▶ 本体の取り付け

フロントガラスへの取り付け

1. 付属のブラケットを本機に取り付けます。
カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。



2. ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付ける位置に軽く当てます。
3. フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

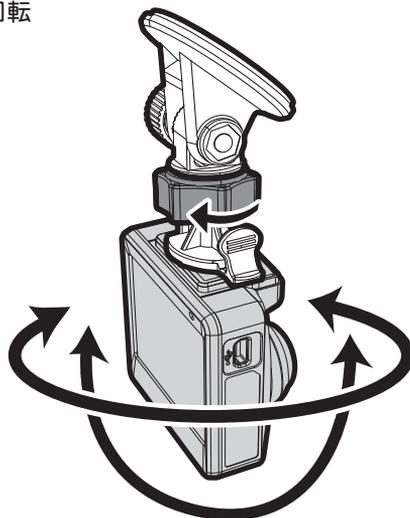


⚠ 注意

本機はルームミラー付近のフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。

ドライブレコーダー本体の位置調整

1. ノブを緩め、本機を垂直または水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。

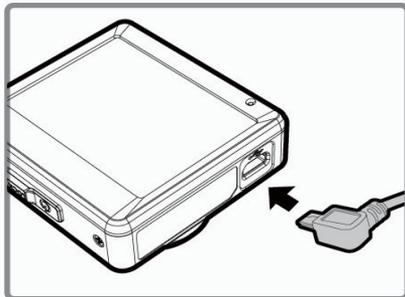


2. ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置で固定されていることを確認します。

電源への接続

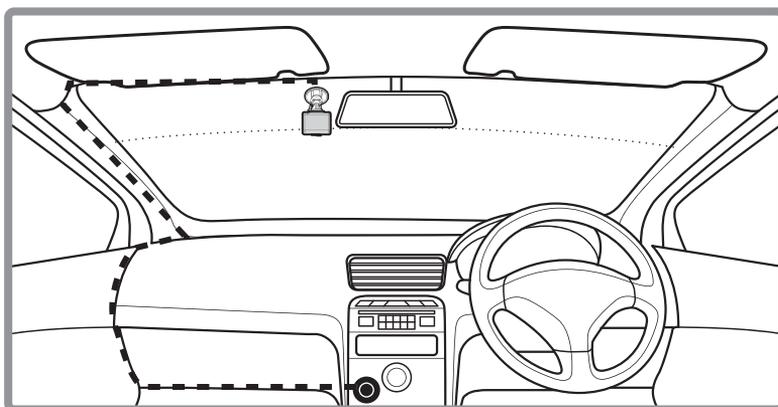
電源コードの一方の端を本機の USB/ 電源コネクターポートに接続します。

USB ポート入力: DC 5V / 1A



シガーライターコードの場合

車両のシガーライターソケットに差し込みます。エンジンを始動 (ACC) すると、本機の電源が自動的に入ります。シガーライタープラグ入力: DC 12 / 24V



直結用電源コードの場合

配線の接続には、同梱のエレクトロタップをご使用下さい。

赤線: ACC線へ接続

黒線: GND線へ接続



バッテリーアイコン

アイコン	説明
	バッテリーが完全に充電されている状態です。
	バッテリーが 2/3 が残っています。
	バッテリーが 1/3 が残っています。
	バッテリーの残量がありません。
	バッテリーは充電中です。
	電力が供給されているとき表示されます。

注意

使用環境温度が45℃以上の場合、電源アダプターから本製品に電源を供給し続けることができますが、内蔵バッテリーには充電されません。これはリチウムポリマーバッテリーの特性であり、故障ではありません。

▶ 本製品の電源オン/オフ

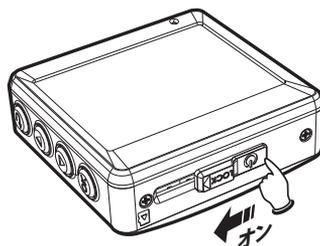
自動電源オン/オフ

エンジンを始動（ACC）すると、本製品の電源が自動的に入ります。また自動録画・録音機能（P16）を有効にした場合、本製品の電源が入ると自動的に録画・録音を開始します。

手動電源オン / オフとリセット

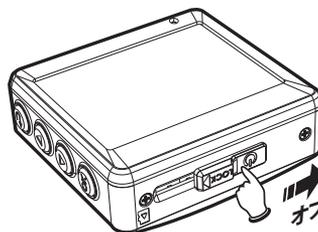
手動電源オン

電源スイッチを左にスライドすると電源が入ります。電源スイッチがメモリーカードスロットの上で固定されていることを確認して下さい。



電源オフ

電源スイッチを右にスライドすると、電源をオフする動作を開始します。メモリーカードにデータを保存後に自動的に画面が消えて電源オフの状態になります。



リセット

何らかの原因により本製品が通常どおりに機能しなくなった場合、電源スイッチを右にスライドして、電源をオフにし、その後約7秒経過後に電源スイッチを左にスライドし、再起動して下さい。

⚠ 注意

画面点灯中はメモリーカードの取り出しは行わないでください。録画ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

初期設定

本製品を使用する前に、正しい日付/時間設定と自動録画・録音設定をすることを推奨します。

日付 / 時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順で行います。

1. 録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、日付/時間設定を選択し、**OK**ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、数値を調整した後、**OK**ボタンを押して別のフィールドに移動します。
5. 日付と時間の設定が完了するまで、ステップ4を繰り返します。



自動録画・録音の設定

自動録画・録音の設定がオンの場合、電源を入れると、自動的に録画・録音を開始します。設定を有効にするには以下の手順で行います。

1. 録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、自動録画・録音を選択し、**OK**ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、オンを選択し、**OK**ボタンを押して機能を有効にします。
5. ↶ ボタンを押して、メニューを終了します。



衛星同期の設定

GPS 衛星と同期すると時間の調整が不要になります。衛星との同期を設定するには、以下の手順で行います。

1. 録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼を押して衛星同期を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼を押してオンを選択し、次に OK ボタンを押して、機能を有効にします。



⚠ 注意

衛星同期がオンの場合、本製品の時刻は、衛星の時刻信号により自動調整されます。

▶ 運転中のビデオ録画

エンジンを始動 (ACC オン) したときに自動録画・録音機能が有効になっていると、本製品の電源が自動的に入り、録画・録音を開始します。エンジン停止 (ACC オフ) 後、録画・録音が停止し、自動的に電源がオフになります。

⚠ 注意

車両によっては、エンジンが切れても録画・録音が続くことがあります。その場合、手で電源をオフ (P.15) にするか、シガーライターソケットから、シガーライターコードを取り外してください。

録画・録音の開始 / 停止

1. 録画中に ▼ ボタンを押すと録画・録音を停止します。
2. 録画停止中に OK ボタンを押すと録画・録音を開始します。

▶ 運転中のビデオ録画

〈つづき〉

緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

1. 自動録画中、**OK** ボタンを押すと緊急録画モードに入ります。「緊急録画」という文字が画面の右上に表示されます。緊急録画モード時に保存されたファイルは保護されます。
2. ▼ を押すと、録画・録音を直ちに停止します。

⚠ 注意

1. 衝突検出機能を有効化した場合、衝突を検出すると自動的に緊急録画を開始します。
2. 緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の常時録画により上書きされないように保護されます。8GB(以上)のメモリカードで最大10個の緊急ビデオファイルを保存できます。緊急録画ファイルが10個以上になると、「ファイルが一杯です」という警告メッセージが画面に表示され、古い緊急録画ファイルから順に上書きされます。

3. ファイルの保存範囲等は「P31 録画ファイルについて」を参照してください

スナップショットの撮影

本機を使用して、現在の光景のスナップショットを撮影することができます。

1. 録画・録音が進行中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ▼ ボタンを押してスナップショットを撮ります。



不点灯警告

録画画像を認識して、夜間やトンネル等の暗い場面で警告音と画面表示にてヘッドライト点灯の案内をいたします。設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ⏪ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、不点灯警告を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、オンを選択し、OK ボタンを押します。
5. ⏪ ボタンを押して、メニューを終了します。

⚠ 注意

不点灯警告は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。

居眠り防止案内

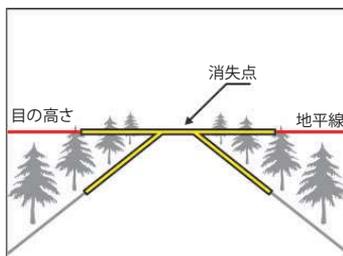
録画開始 1 時間後、および、その後 30 分毎に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ⏪ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、居眠り防止案内を選択し、ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、オンを選択し、OK ボタンを押します。
5. ⏪ ボタンを押して、メニューを終了します。

LDWS(車線逸脱警告システム)

時速 50km/時以上の速度で走行中に車線を変更する際、警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ⏪ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ボタンを押して、LDWSを選択し、OKボタンを押します。
4. ▲/▼ボタンを押して、オンを選択し、OKボタンを押します。
5. ⏪ ボタンを押して、メニューを終了します。
6. LDWSを有効にすると、通常画面に、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置合わせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。位置合わせのアイコンが車両ボンネット等と重ならないようにしてください。



⚠ 注意

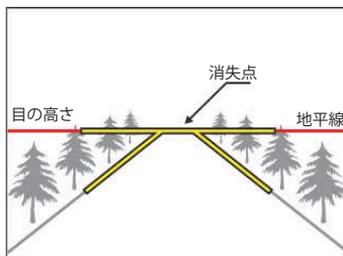
1. LDWS(車線逸脱警告)は、GPSが測位状態でのみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は動作しません)。
2. LDWS(車線逸脱警告)は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
3. 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面でご案内をする場合がありますが、故障ではありません。

FCWS (前方衝突警告)

時速 60 km/h以上の速度で走行中に、前方の車両との距離が 20m 以下に近づいた時に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。

※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ボタンを押して、FCWSを選択し、OKボタンを押します。
4. ▲/▼ボタンを押して、オンを選択し、OKボタンを押します。
5. ↶ボタンを押して、メニューを終了します。
6. FCWSを有効にすると、通常画面にて、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。位置あわせのアイコンが車両ボンネット等と重ならないようにしてください。



⚠ 注意

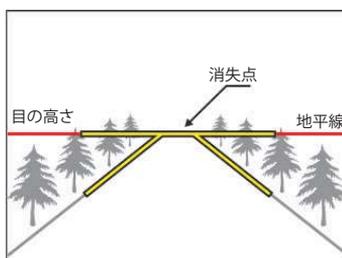
1. FCWS (前方衝突警告)は、GPS が測位状態でのみ動作します (トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
2. FCWS (前方衝突警告)は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
3. 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

FCMD (前方車両移動検知)

20 秒間以上停止すると前の車両の動きの検出を開始します。前の車両の動きによりカメラ内の画像が変化した時、警告音と画面表示でお知らせします。

設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ボタンを押して、FCMD を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼ボタンを押して、オンを選択し、OK ボタンを押します。
5. ↶ボタンを押して、メニューを終了します。
6. FCMDを有効にすると、通常画面にて、位置あわせのアイコンが表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。位置あわせのアイコンが車両ボンネット等と重ならないようにしてください。



⚠ 注意

1. FCMD (前方車両移動検知)は、GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等でGPS が測位できない場合は動作しません)。
2. FCMD (前方車両移動検知)は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
3. 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

駐車モード

駐車時に車両を監視するには、動体検知または振動検知を有効にします。
設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オフ

1. 録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、駐車モードを選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、振動検知または動体検知を選択し、OK ボタンを押します。
5. ↶ ボタンを押して、メニューを終了します。

項目	説明
振動検知	エンジンが停止 (ACC オフ) 後、「60 秒待つと振動検知に入ります。OK を押すとオフになります。」というメッセージが表示され、60 秒後に振動検知モードに入ります。 車両 (本製品) に振動が与えられたことを本製品が検出すると、60 秒間ビデオが録画され、録画が保護されます。(録画ファイルは「EVENT」のフォルダーに保存されます) 60 秒以内に OK を押すと、振動検知モードに入らず、オフになります。
動体検知	エンジンが停止 (ACC オフ) 後、「OK キーを押して電源をオフにします。あるいは 10 秒後に動体検知に入ります。」というメッセージが表示され、10 秒後に動体検知モードに入ります。 本製品の録画範囲内の画像に何らかの動きを検出すると、10 秒間ビデオが録画され、さらにその録画中に何らかの動きを再度検出した場合は、さらに 10 秒間録画を延長します。(録画ファイルは「VIDEO」のフォルダーに保存されます) 録画は画像に何らかの動きを検出している間録画を続けます。
オフ	駐車監視は有効になりません。

⚠ 注意

1. バッテリーが完全に充電され良好な場合、動体検知は約 20 分間連続で記録できません。充電状態や録画間隔によって動作時間は異なります。
2. 本製品は使用につれて、徐々にバッテリーの容量が減少していきます。これはバッテリーの特性で、故障ではありません。
3. 駐車モードでの録画は、車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。

オービス警告

全国のオービスポイントが登録されています。車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。制限速度を超えると、警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。設定は以下の手順で行います。 ※工場出荷時：オン

オービス警告機能を有効にするには：

1. 録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。
2. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、オービス警告を選択し、OK ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、オンを選択し、ボタンを押します。
5. ↶ ボタンを押して、メニューを終了します。



⚠ 注意

1. オービス警告機能はGPSが測位状態の時のみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)。
2. 本製品のオービス案内はオービスポイントの案内を保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントを案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
3. 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
4. オービス警告時に表示される距離は、GPSの誤差や登録ポイントの場所、走行速度によって、誤差が生じる事がありますが、異常ではありません。
5. オービス機能は録画中のみ動作します。スタンバイ時は機能しません。

カメラ位置追加登録/4グリッドチャート

カメラ位置追加登録

ユーザーが任意の場所でオービスのカメラ位置を追加登録することができます。

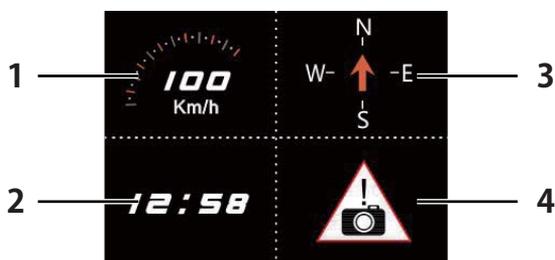
録画中に ▲ ボタンを押すと、その位置をオービスのカメラ位置として追加で登録できます。



4グリッドチャート

録画中、↶ ボタンを押すと、4グリッド機能チャートが表示され、車両情報を確認できます。

↶ ボタンを再度押して、録画・録音に戻ります。



番号	項目
1	走行速度
2	時刻

番号	項目
3	進行方向
4	オービス警告

ビデオとフォトの再生

録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。

1. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. ▲/▼ ボタンを押して、ファイル再生を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. ▲/▼ ボタンを押して、表示したい記録ファイルのカテゴリーを選択し、**OK** ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押し、表示したい記録ファイルを選択して**OK** ボタンを押す。



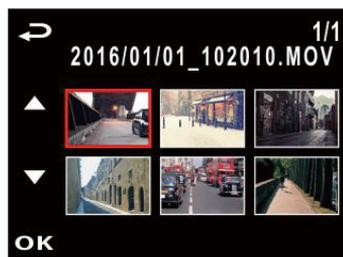
⚠ 注意

最後に録画されたファイルが画面に表示されます。

ビデオ再生

録画・録音中の場合は、▼ボタンを押して録画・録音を停止します。

1. ↶ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. ▲/▼ ボタンを押して「ファイル再生」を選択し**OK** ボタンを押します。
3. ▲/▼ ボタンを押して、ビデオまたは緊急録画を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、必要なビデオ録画ファイルを表示し、**OK** ボタンを押してビデオを再生します。
5. ▼ ボタンを押すと再生を停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
6. 再生中に ▲ ボタンを押すと映像を早送りします。▼ ボタンを押すと通常モードに戻ります。
7. 再生中に**OK** を押すと巻き戻しします。 ▼ ボタンを押すと通常モードに戻ります。



※早送り・巻き戻しは最高4倍速まで可能です。

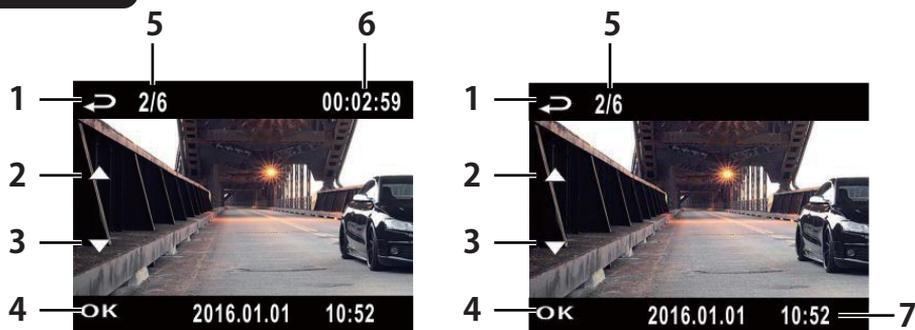
フオトの表示/再生画面

フオトの表示

録画・録音中の場合は、ボタンを押して録画・録音を停止します。

1. ◀ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. ▲/▼ ボタンを押して、再生したいファイルを選択し、**OK** ボタンを押します。
3. ▲/▼ ボタンを押して、画像を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、必要な画像ファイルを表示し、**OK** ボタンを押して、ファイルを全画面で表示します。

再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル選択(戻る)	◀ ボタンを押して、ファイル選択の表示に戻ります。
2	前のファイル	▲ ボタンを押して、前の写真/ビデオを確認します。
3	次のファイル	▼ ボタンを押して、次のビデオ / 写真を表示します。
4	ファイル再生	OK を押してビデオ(写真)を再生します。
5	ファイルの再生ページ番号	現在再生中のファイルと、再生ファイルの合計数を知らせます。
6	現在の継続時間	経過時間を表示します。
7	日付と時間	録画した日付と時間を表示します。

ファイルの削除

ファイルの削除

録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。

1. ⏪ ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. ▲/▼ ボタンを押して、「ファイル削除」を選択し、**OK** ボタンを押します。
3. ▲/▼ ボタンを押して、ファイルの種類を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンを押して、削除したいファイルを選択し、次に **OK** ボタンを押して、削除メニューに入ります。

項目	説明
1 つ削除	現在のファイルを1つ削除します。
すべて削除	すべてのファイルを削除します。

6. **OK** ボタンを押して、削除を確定してください。

注意

削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは削除前に、パソコン等にバックアップしてください。

録画ファイルについて

録画・録音間隔

動画ファイルの録画・録音間隔はメニューの「録画・録音間隔」で設定できます。
録画時間は1分または3分のどちらかを選べます。

緊急録画ファイル

録画間隔を1分に設定した場合

1. 最初の30秒に衝撃を検知した場合、ひとつ前のファイルと現在のファイルがイベントフォルダに移動します。
2. 最後の30秒～1分間に衝撃を検知した場合、現在のファイルと次のファイルがイベントフォルダに移動します。

録画間隔を3分に設定した場合

1. 衝撃の検知が最初の1分以内の場合、ひとつ前の録画ファイルと現在の録画ファイルがイベントフォルダに移動します。
2. 衝撃の検知が1分以上2分以内の場合、現在のファイルのみイベントフォルダへ移動します。
3. 衝撃の検知が2分以上3分以内の場合、現在のファイルと次の録画ファイルがイベントフォルダに移動します。

⚠ 注意

1. 緊急録画ファイルが10個以上になると、「ファイルが一杯です」という警告メッセージが画面に表示され、古い緊急録画ファイルから順に上書きされます。
2. 緊急録画中であっても▼を押した場合、または手動で電源をオフにした場合は緊急録画は直ちに停止します。

メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。



録画・録音中の場合は、▼ ボタンを押して録画・録音を停止します。

1. ◀ ボタンを押して、設定メニューを開きます。
2. ▲/▼ ボタンを押して、メニュー項目を選択し、OK ボタンを押して、選択したメニューに入ります。
3. ▲/▼ ボタンを押して、必要な設定を選択し、OK ボタンを押して設定を確認します。
4. ▶ ボタンを押して、メニューを終了します。

メニュー項目

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
ファイル再生	表示したいファイルの種類を選択します。	画像/ビデオ/ 緊急録画	ビデオ
解像度設定	ビデオ録画の解像度設定	1920 x 1080 / 55 fps 1920 x 1080 / 27.5fps (HDR)	1920 x 1080 / 55fps
日付/時間設定	日付と時間を設定します。	ボタンを押して数値を調整し、ボタンを押してフィールドを切り替え、確定します。	装置をオンにしたあと、手動で設定します。
時間表示	日付スタンプの使用を有効/無効にします。	オン/オフ	オン
音声録音	音声録音の使用を有効/無効にします。	オン/オフ	オン
ビープ音	効果音の使用を有効/無効にします。	音量1/音量2/音量3/ オフ	音量2
LCD設定	ビデオ録画開始後、画面が自動的にオフになる時間を設定します。	オン/30秒後にオフ/ 3分後にオフ/オフ	オン
自動録画・録音	装置をオンにした後で、自動録画・録音機能の使用を有効/無効にします。	オン/オフ	オン
録画・録音間隔	各ビデオ録画ファイルの録画・録音間隔を設定します。	1分/3分	3分
明るさ調整	露光値の設定	ボタンを押し、露光値を設定します。+1.0 から -1.0 の間で設定できます。	+0.0
速度単位	速度表示の単位を選択します。	Km/h / mph	Km/h
衛星システム	ユーザーが位置する場所の衛星システムを選択します。	GPS / GLONASS	GPS

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
衛星ステータス	現在の衛星信号受信状況を表示します。		
衛星同期	衛星の時刻に自動的に同期します。この機能が有効化された後、衛星時間は第一優先として表示され、時間は手動では変更できません。	オン/オフ	オン
不点灯警告	詳細な内容は取説の20ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
居眠り防止案内	詳細な内容は取説の21ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
LDWS	詳細な内容は取説の22ページを参照してください。	オン/オフ ※解像度設定:55fps選択時使用可能	オフ
FCWS	詳細な内容は取説の23ページを参照してください。	オン/オフ ※解像度設定:55fps選択時使用可能	オフ
FCMD	詳細な内容は取説の24ページを参照してください。	オン/オフ ※解像度設定:55fps選択時使用可能	オフ
衝突検出	衝突検出機能の感度およびオフを設定します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ	標準感度
駐車モード	駐車時に車両を監視するモードを設定します。	振動検知 / 動体検知 / オフ	オフ
オービス警告	オービス案内の動作設定をします。	オン / オフ	オン
制限速度警告	速度を設定し、その速度を超えるとアラームで警告します。	▲ / ▼ ボタンを押し、50km/h ~ 200 km/h の間で設定できます。	オフ
カメラ位置設定	最大 200 箇所のオービスカメラ位置を追加できます。カメラ位置削除: 新規追加したカメラ位置情報の最後のカメラ位置を削除 / すべてのカメラ位置を削除します。	カメラ位置追加 / 最後登録位置削除 / 位置全削除	カメラ位置追加
WDR	高コントラスト、明るさの落差が激しい環境でディテールを良くすることが出来ます。 ※画面が少し粗くなります。	オン / オフ	オフ

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
ファイル削除	ファイルを削除します。	画像 / ビデオ / 緊急録画	ビデオ
フォーマット設定	メモ리카ードのフォーマット	はい / いいえ	いいえ
初期設定	すべての設定を工場出荷設定値に復元します。	はい / いいえ	いいえ
ファームウェア	現在のファームウェアのバージョンを表示します。		

再生ソフト(SuperCar)インストール

付属の CD ROM をパソコンの CD ドライブ に挿入します。

1. CD が自動的に実行しない場合は、Windows ファイルマネージャーを用いて CD 内の Install_CD.exe ファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



2. 【 PCビューアー [Super Car] 】をクリックし、画面の指示に従ってインストール処理を開始してください。

SuperCar (PCビューアー)

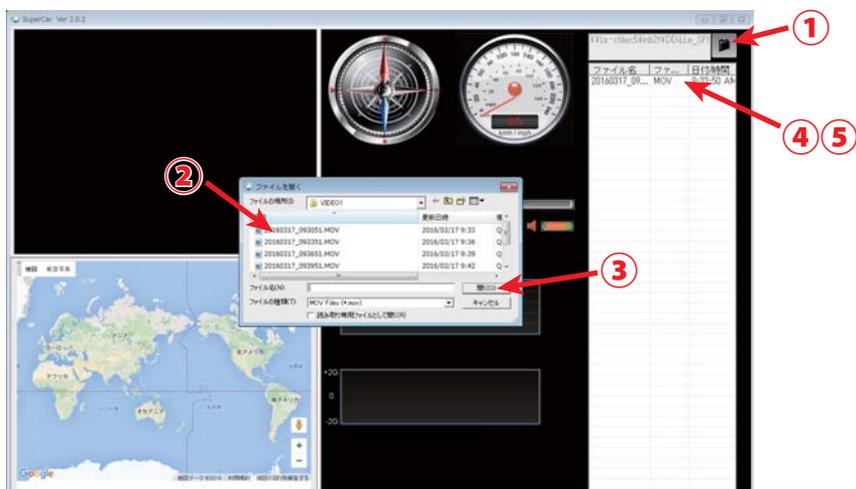
各部の名称と機能



番号	項目	番号	項目
1	ビデオプレーヤー 録画ファイル再生時に表示されます。	9	ファイルパス 録画ファイルの入ったフォルダーの保存場所が表示されます。
2	再生/一時停止 録画ファイル再生/一時停止をするときに押します。	10	ファイル検索 録画ファイルを検索します。
3	前へ ひとつ前の録画ファイルを見るときに押します。	11	ファイルリスト メモリーカードに記録されたファイルから「ファイル検索」で選んだファイルが表示されます。
4	次へ ひとつ後の録画ファイルを見るときに押します。	12	ファイル名 選択されたファイル名が表示されます。
5	停止	13	音量
6	Google Map	14	再生時間/録画時間
7	方位計	15	信号雑音比 (SNR)
8	速度計	16	Gセンサー

録画ファイルの再生

- ① 「ファイル検索」をクリックし、メモリーカードの「VIDEO」フォルダーを選択します。
- ② 再生したい録画ファイルを選択します。(Shift、または Ctrl キーで複数選択可)
- ③ 「開く」をクリックします。
- ④ 先ほど選択したファイルは「11. ファイルリスト」に表示されます。
- ⑤ ファイルリストから再生したい録画ファイルを選択し、ダブルクリック、または「再生ボタン」をクリックします。



⚠ 注意

1. Google Map に経路を表示するには、ビデオの再生を始める前にインターネットに接続します。
2. ビデオファイル (MOV / TS) と GPS/G センサーファイル (NMEA) は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
3. Supercar ソフトウェアは Windows オペレーティングシステムでご利用いただけます。(バージョンは Windows 7以上推奨)

GPSデータの更新について

(ファームウェア)

更新データダウンロード方法

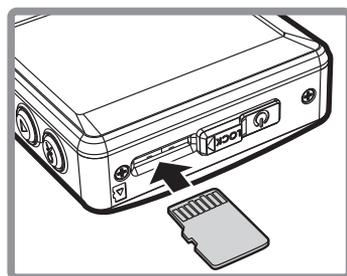
1. http://www.j-e-s.co.jp/mirumoeeye_gps.html にアクセスします。
2. **MIRUMO eye** 専用ダウンロードのボタンをクリックすると更新用ファイルがダウンロードされます。



※対応環境についてはサイトの【対応パソコン】の記載をご確認下さい。

データ更新方法

1. ダウンロードデータをドライブレコーダーの microSD カードにコピーします。
2. microSD カードをメモリーカードスロットに戻し、電源をオンにすると「Update Firmware?」と表示されるので、「はい」を選択すると、自動的に更新されます。更新終了後は自動的に電源が切れます。
3. 更新終了後、microSD カードを本体から取り外し、microSD カード内のダウンロードデータを PC 上で削除してから、メモリーカードスロットに戻してください。
※microSD カードにダウンロードデータが残っていると誤動作の原因となります。



⚠ 注意

1. 本製品の電源がオンになっている時は、メモリーカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモリーカードが損傷することがあります。
2. microSDHC規格のメモリーカード（最大32GB）を使用してください。
3. 初めて使用するときは、メニューより「フォーマット設定」（P35『メニュー項目』参照）を選び、マイクロSDカードをフォーマットしてください。
4. メニューより「ファームウェア」（P35『メニュー項目』参照）を選び、ファームウェアのバージョンを確認できます。
5. メモリカードを取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないようご注意ください。
6. ファームウェアの更新をすると各設定は初期設定に戻ります。ご自身で登録したオービスポイントも消えますのでご注意ください。

仕様

項目	説明
イメージセンサー	1/3 インチ CMOS センサー
有効ピクセル数	2688 (H) x 1512 (V) (約 408 万画素)
ストレージメディア	Class6 以上のmicro SDHC8GB ~ 32GB までサポート
LCD ディスプレイ	2.31 インチ TFT カラーモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.8、f=2.94mm
フォーカス範囲	1.5m ~無限
衛星システム	GPS / GLONASS
録画解像度	解像度：1080P/55fps、1080P/27.5fps HDR
	形式：MOV
静止画像 (スナップショット)	解像度：4M (2688 x 1512)
	形式：JPEG
G センサー	3 軸 G フォース センサー
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
マイクロフォン	あり
スピーカー	1.0W
インターフェイス	Micro SDHC
バッテリー	内蔵 470mAh 充電可能リチウムポリマー

仕 様

〈つづき〉

項 目	説 明
寸法	57 x 30 x 58 mm
重量	約 75g (メモ리카ード含まず)